

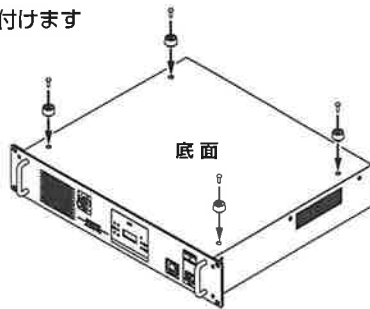
デジタル簡易無線中継装置 EXR-7000CR

YAESU
Radio for Professionals

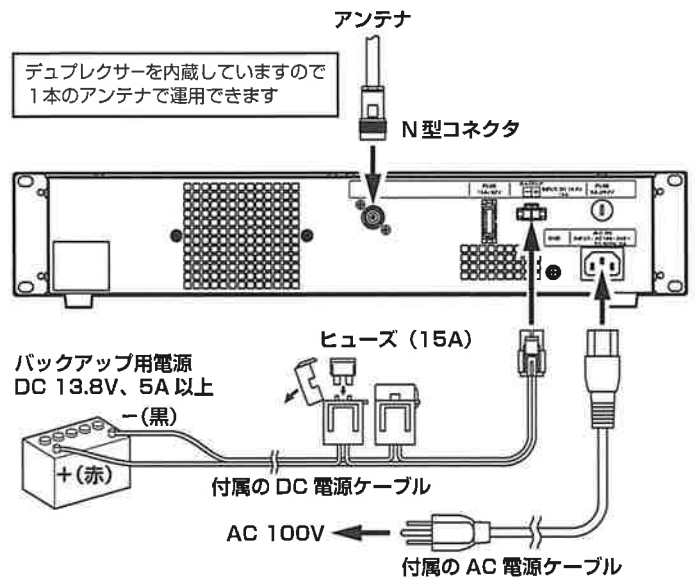
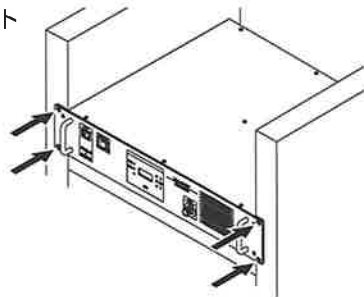
取扱説明書

設置 / 電源、アンテナの接続方法

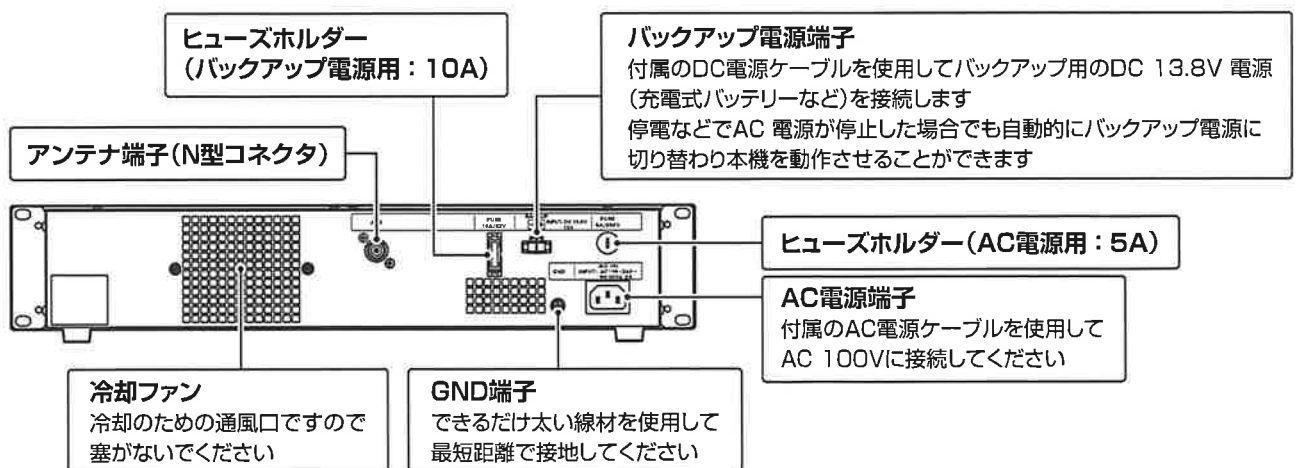
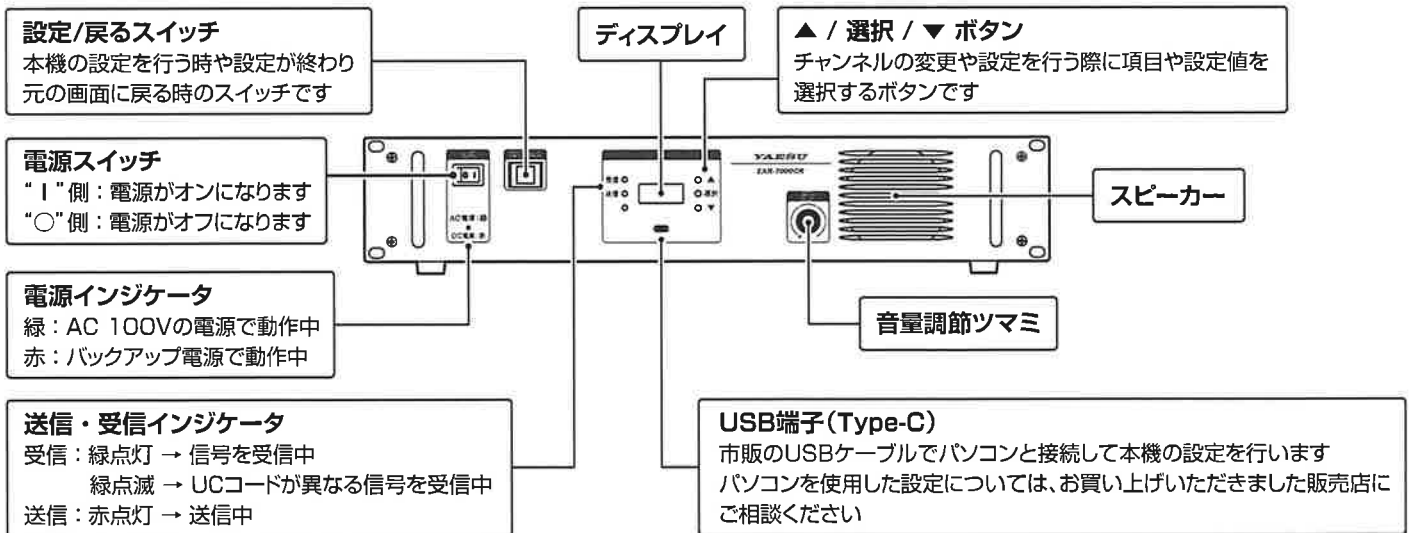
付属の足（4個）を底面に取り付けます



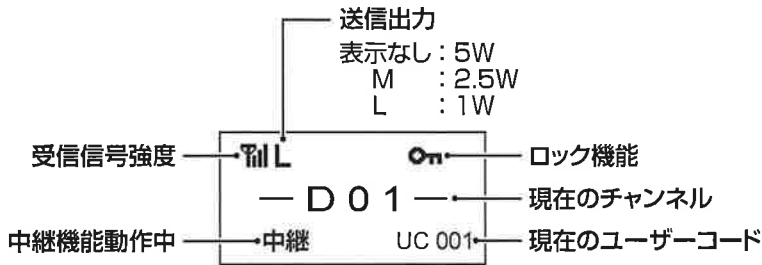
ラックに設置する時は、フロントパネル部をボルトで固定します



各部の名称



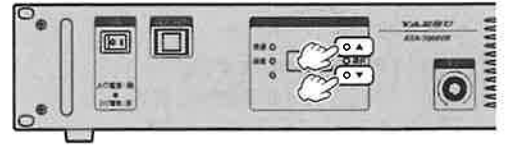
ディスプレイ



チャンネルの表示は、名前を付けて表示することができます(半角14文字、全角7文字まで)
専用のエディターを使用しますので、ご希望の場合はお買い上げいただきました弊社代理店にご相談ください

運用のしかた

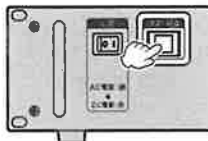
1. [▲]/[▼] ボタンを押して運用するチャンネル(無線機と同じチャンネル)を選びます
2. 無線機と同じユーザーコードに設定します(下記の「ユーザーコードを変える」参照)
3. 以上で設定は完了です
同じチャンネルで同じユーザーコードを設定した信号を自動で中継します



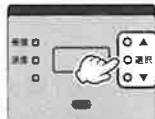
他のグループの音声が聞こえる時はユーザーコードを変える

- ・グループのユーザーコードを変えることにより、グループ以外の信号は受信しても音声は聞こえず中継も行いませんが、他のグループの信号を受信中は、通話することができません
- ・本機と無線機のユーザーコードは同じコードにしてください

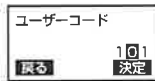
1. [設定/戻る] スイッチを押します



2. [▲]/[▼] ボタンを押して“ユーザーコード”を選びます



3. [選択] ボタンを押します
一桁目の数字が選択されます
4. [▲]/[▼] ボタンを押して数字を選びます
5. [選択] ボタンを押します
右の桁に移動します



6. 手順4～5を繰り返して、3桁のユーザーコードを入力します
ユーザーコードは“001”～“511”から設定できます
7. [選択] ボタンを押します
8. [設定/戻る] スイッチを押して設定完了です



スイッチ/ボタンをロックする

[選択] ボタンを長押しするとスイッチ/ボタンをロックします

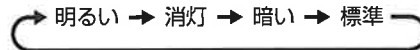
もう一度 [選択] ボタンを長押しするとロックを解除します

ロック中は画面に“On” が点灯します



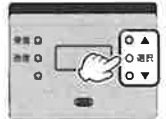
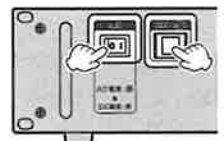
画面の明るさを変える

[選択] ボタンを短押しするたびに画面の明るさが変わります



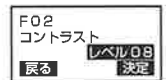
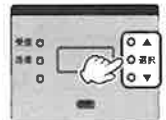
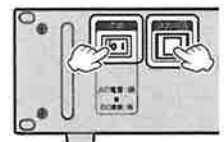
・画面の明るさは以下の方法でも変えることができます

1. 一度電源をオフにします
2. [設定/戻る] スイッチを押しながら電源をオンにします
“セットメニュー” が選択されています
3. [選択] ボタンを押します
4. [▲]/[▼] ボタンを押して“F01 ディマー”を選びます
5. [選択] ボタンを押します
6. [▲]/[▼] ボタンを押して明るさを選びます
00 消灯、01 (暗い)、02 (標準)、03 (明るい)
7. [選択] ボタンを押します
8. [設定/戻る] スイッチを押します
9. 電源をオフにして設定は完了です



画面のコントラストを変える

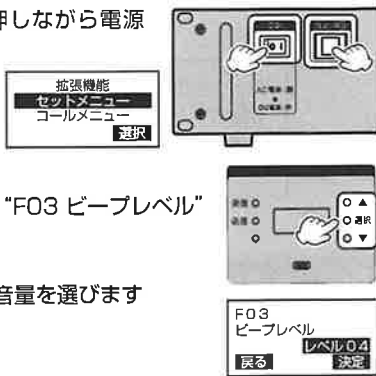
1. 一度電源をオフにします
2. [設定/戻る] スイッチを押しながら電源をオンにします
“セットメニュー” が選択されています



3. [選択] ボタンを押します
4. [▲]/[▼] ボタンを押して“F02 コントラスト”を選びます
5. [選択] ボタンを押します
6. [▲]/[▼] ボタンを押して希望のコントラストを選びます
初期値：レベル08
レベル00～レベル15
7. [選択] ボタンを押します
8. [設定/戻る] スイッチを押します
9. 電源をオフにして設定は完了です

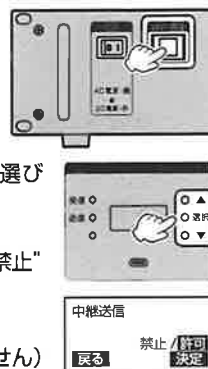
キーを押した時に鳴るビーブ音の音量を変える

- 一度電源をオフにします
- [設定/戻る]スイッチを押しながら電源をオンにします
“セットメニュー”が選択されています
- [選択]ボタンを押します
- [▲]/[▼]ボタンを押して“F03 ビーブレベル”を選びます
- [選択]ボタンを押します
- [▲]/[▼]ボタンを押して音量を選びます
初期値：レベル04
レベル00～レベル15
- [選択]ボタンを押します
- [設定/戻る]スイッチを押します
- 電源をオフにして設定は完了です



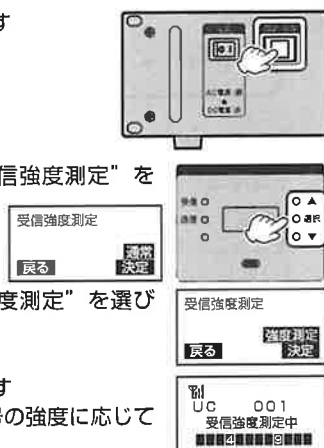
メンテナンスを行う時などに一時的に送信しないようにする

- [設定/戻る]スイッチを押します
- [▲]/[▼]ボタンを押して“中継送信”を選びます
- [選択]ボタンを押します
- [▲]/[▼]ボタンを押して“許可”または“禁止”を選びます
許可：送信します（中継機能が動作します）
禁止：送信しません（中継機能は動作しません）
- [選択]ボタンを押します
- [設定/戻る]スイッチを押して設定完了です



最適なアンテナの設置場所を決めるため受信信号の強度をメーターで表示する

- [設定/戻る]スイッチを押します
- [▲]/[▼]ボタンを押して“受信強度測定”を選びます
- [選択]ボタンを押します
“通常”が選択されています
- [▲]/[▼]ボタンを押して“強度測定”を選びます
- [選択]ボタンを押します
- [設定/戻る]スイッチを押します
強度測定の画面になり、受信信号の強度に応じてメーターが振れます



正常に動かない時はお買い上げ時の状態に戻す（リセット）

- 一度電源をオフにします
- [設定/戻る]スイッチを押しながら電源をオンにします
“セットメニュー”が選択されています
- [選択]ボタンを押します
- [▲]/[▼]ボタンを押して“F04 設定リセット”を選びます
- [選択]ボタンを押します
確認画面が表示されます
- [▲]/[▼]ボタンを押して“YES”を選びます
- [選択]ボタンを押します
“F04 設定リセット”の画面に戻ります
- 電源をオフにしてリセットは完了です



i この機能が動作している時は、中継機能は動作しません

・信号強度のメーター表示をやめて通常の中継動作に戻す

一度電源をオフにして再び電源をオンにすると、通常の中継動作に戻ります

セットメニュー / コールメニュー / サービスメニュー

- 一度電源をオフにします
- [設定/戻る]スイッチを押しながら電源をオンにします
- [▲]/[▼]ボタンを押してメニューモードの項目を選んで[選択]ボタンを押します
- [▲]/[▼]ボタンを押して設定項目を選んで[選択]ボタンを押します
- [設定/戻る]スイッチを押します
- 電源をオフにして設定は完了です






メニューモード項目	設定項目	機能説明	設定（太字は初期設定値）
	F01 デイマー	画面の明るさを変えます	レベル00、レベル01、レベル02、 レベル03 (消灯) (暗い) (標準) (明るい)
	F02 コントラスト	画面のコントラストを変えます	レベル00、レベル01・・・ レベル08 ・・・レベル14、レベル15
	F03 ビーブレベル	ビーブ音の音量を変えます	レベル00、レベル01・・・ レベル04 ・・・レベル14、レベル15
	F04 設定リセット	各種の設定をリセットします	—
	CO1 UC (D)	ユーザーコードを変更します	001～511から設定できます（初期値：001）
	特別な設定などを行うメニューですので通常は使用しません		

安全上のご注意



本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください





マークの種類と意味

-  **危険** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています
-  **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
-  **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者および周囲の人が障害を負う可能性が注意想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています





⚠ 危険

-  病院内や医療用電子機器の近くでは使用しないでください
医療用電子機器に影響を与える場合があります
-  雷が鳴り出したら、早めに本機の電源スイッチを切り、電源コードとアンテナケーブルを本機から外してください
雷によっては、火災や感電・故障の原因になります









⚠ 注意

-  本機を直射日光の当たる場所や熱器具の付近に置かないでください
変形・変色などの原因になります
-  テレビやラジオの近くに設置しないでください
妨害電波を与えるまたは受けたりすることがありますので充分離してください
-  外部アンテナはテレビアンテナや電灯線からなるべく離してください
妨害電波を与える場合があります
-  アースを確実に取り付けてください
感電やテレビ・ラジオへの電波障害になる原因になります

図記号の種類と意味

-  本機を安全にお使いになるために、行ってはならない禁止事項です。図の中や近くに具体的な禁止内容（ の場合は分解禁止）が描かれています
-  本機を安全にお使いになるために、必ず守っていただきたい注意事項です。図の中に具体的な指示内容（ の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています

⚠ 警告

-  本機を分解したり改造しないでください
火災や感電・故障の原因になります
-  ガス管や配電用のコンジットパイプなどにアースを取らないでください
爆発・火災・感電・故障の原因になります。また、アースは市販のアース棒や銅板を使用してください
-  濡れた手で電源ケーブルのコネクターを抜き差ししたり、機器に触れたりしないでください
感電やケガ等の原因になります
-  指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください
火災や感電の原因になります
-  付属品以外の電源ケーブルを使用しないでください
火災や感電・故障の原因になります
-  DC電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください
発火や火災などの原因になります
-  指定以外のヒューズを使用しないでください
火災や故障の原因になります
-  本機を押入や本棚などの、風通しが悪く狭い場所に押し込まないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください
製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします

八重洲無線株式会社
〒140-0013
東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F
TEL : 03-6404-6525

保証期間はお買い上げの日より3年間です
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から3年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします
誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります

付属品

- ・ AC電源コード
- ・ DC電源コード
- ・ ケースレグ（脚）
- ・ ブレードヒューズ（10A）
- ・ ガラス管ヒューズ（5A）
- ・ 取扱説明書
- ・ 保証書

定格

- 周波数 : 送信 468.796875MHz ~ 468.853125MHz
受信 465.034375MHz ~ 465.090625MHz
- チャンネル数 : 送信 10チャンネル
受信 10チャンネル
- 送信出力 : 5W / 2.5W / 1W
- 電源電圧 : AC 100V ~ 240V
DC 13.8V (± 15%)
- 本体寸法 : 482 (W) × 88 (H) × 380 (D) (mm)
(突起物を含まず)
- 本体重量 : 約 9kg

音声圧縮（符号化）方式について
本機はDVSI社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、AMBE+2™ に対応しています

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.
U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

